はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は，管理機の正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。

本機のすぐれた性能を十分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただき，十分理解してからご使用くださるとともに，日常の保守点検・整備・給油などを十分に行なって末長くご活用ください。又，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。

なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取り入れておりますので，お手元の管理機と，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

サービスと保証

この管理機には，保証書が添付してあります。詳しくは保証書をご覧ください。

なお，ご使用中の故障やご不審な点及びサービスに関するご用命は，お買いあげいただきました販売店・農協又は当社内燃機器支店に，それぞれ「ご相談窓口」を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

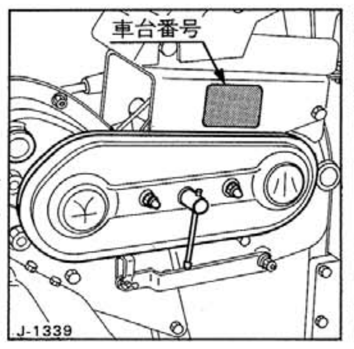
そのさい (1)管理機名称と車台番号，

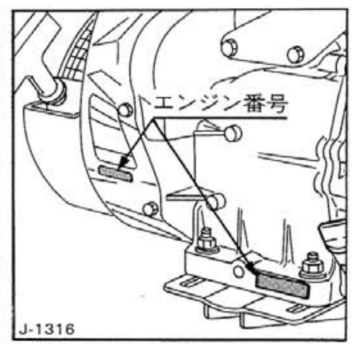
(2)エンジン名称とエンジン番号，

(3)部品ご注文の際は，

タイトル名称・図番及びコードNo(純正部品表参照)

を合せてご連絡ください。





ご注意

★トレーラ走行はできません。

小型特殊自動車の認定を受けておりませんので，一般公道でのトレーラ走行はできません。

主要諸元

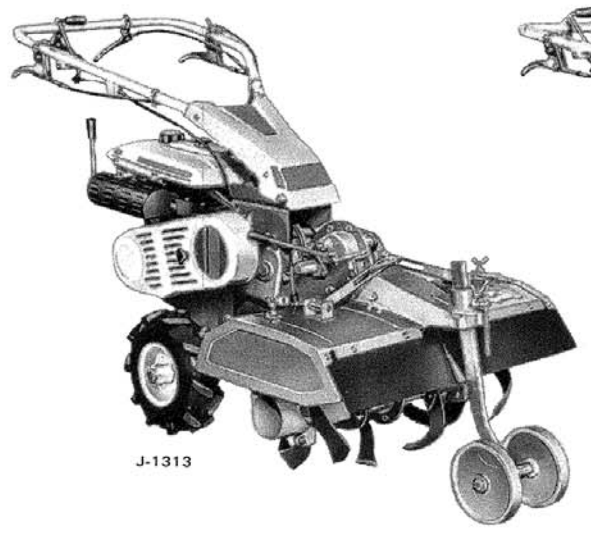
型式		FRT50	FRT50A	FRT70
機体寸法	全長(mm)	1650		
	全幅(mm)	685	600	685
	全高(mm)	760	815	
	輪距(mm)	190~600	240~400	240~600
重量(kg)		115(装備)	112(装備)	125(装備)
エンジン	名称	クボタGS200-TE	クボタGS200-TE2	クボタGS280-TE
	形式	空冷4サイクル1気筒立形ガソリンエンジン		
	総排気量(cc)	201		276
	連続定格出力(馬力／回転毎分)	3.8/1800(最大5.2馬力)		5.0/1700(最大7.0馬力)
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量(ℓ)	3.3		
	点火方式	無接点式マグネト点火(トランジスタ，自動進角付)		
	始動方式	リコイル式		
タイヤ		3.50-5	3.50-7	
主クラッチ		ベルトテンション式		
変速段数	前進(段)	2		
	後進(段)	1		
	ロータリ(段)	2		4
動力取出し軸回転速度(回転／分)		低 728 高 1355		低 694 高 1291
ロータリ	駆動方式	センタドライブ		
	耕うん幅(mm)	600	500	600
	ロータリ径(mm)	300(中耕ドラム爪)		360(中耕ドラム爪)
	使用爪本数(本)	14	12	14
	ロータリ回転速度(回転／分)	低 247 高 459 (副チェーンケース入替え)		副チェーンケース／ロータリ変速／回転速度 低／低速／235 低／高速／437 高／低速／376 高／高速／699

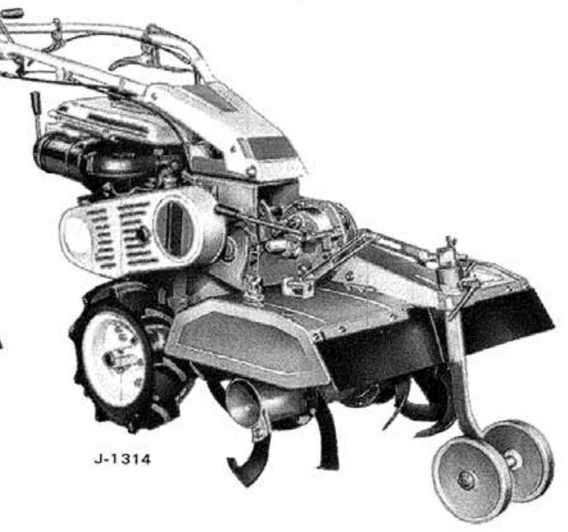
■速度表

型式	FRT50 (FRT50-2)		FRT50A (FRT50A-2)		FRT70 (FRT70-2)		主な作業
車速	車軸回転速度(回転/分)	速度(m/分)	車軸回転速度(回転/分)	速度(m/分)	車軸回転速度(回転/分)	速度(m/分)	
前進1速	18.9	18.4	18.9	20.7	18.0	19.7	中耕除草，溝掘り作業，ハウス内管理作業
前進2速	66.7 (39.7)	64.6 (36.6)	66.7 (39.7)	73.3 (41.6)	63.6 (36.1)	69.9 (39.8)	麦の土入れ，移動
後進	14.4	13.9	14.4	15.8	13.7	15.0	畝盛り，同時マルチ作業

管理機

(ZRT)FRT50・50A・70


J-1313


J-1314

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

久保田鉄工株式会社

本　社：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号　〒556-91　電(06)　648-2111
東京本社：東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号　〒103　電(03)　245-3111
北海道支店：札幌市中央区北3条西3丁目1番地44（札幌富士ビル）　〒060　電(011)　214-3111
東北支店：仙台市本町2丁目15番11号　〒980　電(022)　267-9000
中部支店：名古屋市中村区名駅3丁目22番8号（大東海ビル）　〒450　電(052)　564-5111
九州支店：福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号（住友生命博多ビル）　〒812　電(092)　473-2401
内燃機器札幌支店：札幌市西区手稲東3北3丁目2番地2　〒063　電(011)　662-2121
内燃機器仙台支店：名取市田高字原182番地の1　〒981-12　電(022)　384-5151
内燃機器秋田支店：秋田市寺内字大小路207番地54号　〒011　電(0188)　45-1601
内燃機器東京支店：浦和市西堀1228番地　〒338　電(0488)　62-1121
内燃機器新潟支店：新潟市上所上1丁目14番15号　〒950　電(025)　285-1261
内燃機器名古屋支店：愛知県一宮市観音町1番地1　〒491　電(0586)　24-5111
内燃機器金沢支店：石川県松任市下柏野町956-1　〒924　電(0762)　75-1121
内燃機器岡山支店：岡山市宍甘275番地　〒703　電(0862)　79-4511
内燃機器米子支店：米子市米原569番地　〒683　電(0859)　33-5011
内燃機器福岡支店：福岡市東区和白丘2丁目2番76号　〒811-02　電(092)　606-3161
内燃機器熊本支店：熊本県下益城郡富合町大字廻江846番地の1　〒861-41　電(096)　357-6181
内燃機器高松支店：香川県綾歌郡国分寺町国分字向647の3　〒769-01　電(08787)　4-5091
堺製造所：堺市石津北町64番地　〒590　電(0722)　41-1121
宇都宮工場：宇都宮市平出工業団地22番地2　〒321　電(0286)　61-1111
筑波工場：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地　〒300-22　電(029752)　5112
枚方製造所：枚方市中宮大池1丁目1番1号　〒573　電(0720)　40-1121
堺部品センター：堺市築港新町3丁8番　〒592　電(0722)　45-8601
宇都宮部品センター：宇都宮市平出工業団地38-16　〒321　電(0286)　63-6336
北海道部品センター：北海道札幌郡広島町字大曲186-37　〒061-12　電(011)　376-2335
筑波部品センター：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地　〒300-22　電(029752)　2293
枚方部品センター：枚方市中宮大池1丁目1番1号　〒573　電(0720)　40-1797
クボタトラクターコーポレーション(アメリカ・カリフォルニア州)　●カナダクボタトラクター販売(株)(オンタリオ州)
ブラジル久保田鉄工(有)(サンパウロ市)　●クボタヨーロッパ(株)(フランス・アルジャントゥイュ市)
イランクボタ(株)(ガズビン市)　●インドネシアクボタ(株)(スマラン市)　●マレーシアクボタ農業機械(株)(セランゴール州)
タイクボタトラクター販売(株)(バンコック市)　●クボタマルスチール農業機械(株)(フィリピン・マニラ市)　●新台湾農業機械(株)(高雄市)

品番 62411－6521－6　T.●.9－14.5.AK

特別付属部品

品番	品名	適用機種		仕様	用途	兼用機種
		50(A)形	70形			
62411-8111-0	フロントヒッチ完備	○	○			
62081-8110-0	バランスウエイト完備	○	○	(1)+(2)=20kg	同時マルチ作業などに於ける前後バランス調節を行なう	(Z)T4 (Z)T42
62081-8120-0	バランスウエイト(1)完備	○	○	12kg (ヒッチピン付き)		(Z)T4 (Z)T42
62081-8130-0	バランスウエイト(2)完備	○	○	8kg (ヒッチピンなし)		(Z)T4 (Z)T42
62081-8140-0	バランスウエイト(2)単完備	○	○	8kg (ヒッチピン付き)		(Z)T4 (Z)T42

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

耕うん機・管理機 ✚ 安全五憲章

1. 道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。
2. 農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。
3. ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進，下りは後進で行ないます。
4. バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。
5. 機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

1．はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。

そして機械を点検し，異常箇所がないか確めてから使用してください。

2．燃料の給油とエンジンの始動

(1)燃料補給をするときは，
- 必ずエンジンを停止して行ないます。
- 燃料をこぼさない。
- こぼしたときは，きれいにふきとります。
- 火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。

(2)密閉した車庫内で，長時間エンジンをかけたままにしておくと空気を汚し，ガス中毒を起す危険があります。

(3)エンジンを始動するときは，クラッチを切り，主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

3．始　動

発進するときは，周囲の安全を確かめ機械の付近に人が近づかないようにしてください。

又，バックするときは，足元・後方をよく確かめてからエンジンを低速にしてバックしてください。

4．作業中

(1)傾斜地で作業したり重い荷物をけん引するなど，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。

(2)安全カバーなどを取外した状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。

(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。

(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5．トラックへの積降ろし

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。

(2)積降ろし中にトラックが移動しないように，必ずトラックのエンジンを止め，サイドブレーキを確実にかけてください。

6．走　行

(1)下り坂では，クラッチを切ったり，変速を中立にすると，スピードが出すぎて危険ですので，行なわないでください。

(2)坂道での変速操作は危険です。平坦な所であらかじめ遅い速度に変速し，安全な速度で走行してください。

(3)坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に機体が曲がることがあります。坂道では速度を遅くし，ハンドル操作でカーブを曲がるようにしてください。

(4)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがありますので，必ずアユミ板を使用してください。

(5)一般道路上では，自動車に道を譲るなど交通法規・交通道徳を守ってください。

(6)踏切を渡る場合は，必ず一旦停止し，列車通過の有無を確認の上，速やかに渡ってください。

7．その他

(1)次のような状態では運転しないでください。
- 飲酒運転　●いねむり運転
- 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき　●妊娠中の方

(2)だぶついたズボンや上着など回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。

(3)点検・整備・清掃などは，必ずエンジンを止めてから取扱説明書に従い行なってください。

(4)作業中，又は作業後に高温部分(マフラなど)に触れると，ヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。

(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，「取扱説明書」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で **安全ポイント** として，その都度とり上げております。

更に，安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

きょうも一日安全で楽しい作業を

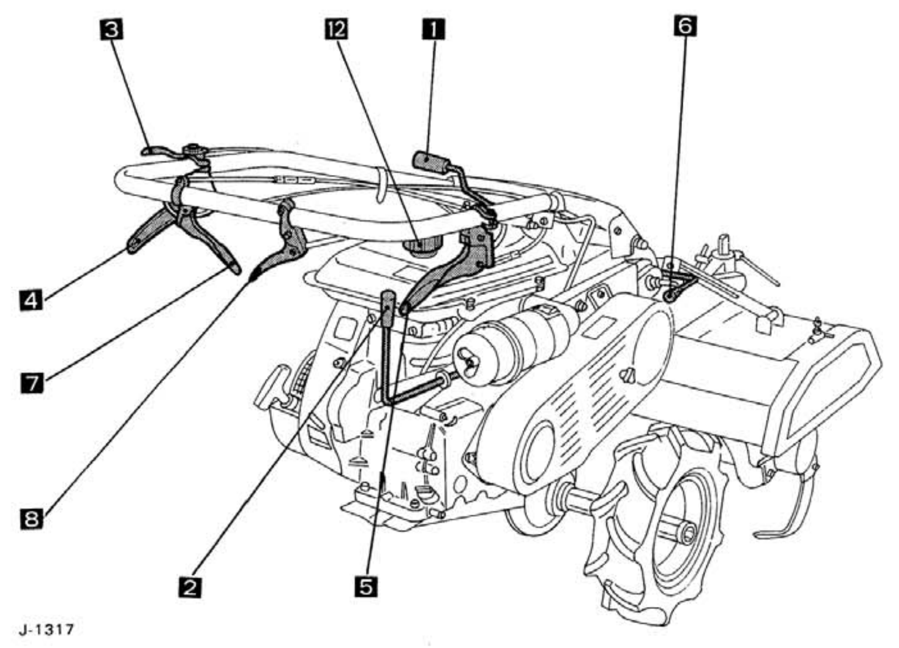
主要アタッチメント

	品番	品名	仕様	用途	適用機種		兼用機種
					50(A)形 (50(A)-2形)	70形 (70-2形)	
延長ドラムロータリ類	92201-2231-1	延長ドラムロータリ30完備	耕幅88cm，延長カバー付き	中耕除草	○ (○)		
	92201-2251-1	延長ドラムロータリ36完備	耕幅88cm，延長カバー付き			○ (○)	
溝掘りロータリ類	92201-2331-1	溝掘りロータリ25-30完備	溝幅25，30cm，鉄車輪	果樹園，茶園，ハウス，桑園の溝掘り，畝作り，覆土	○		
	92201-2351-1	溝掘りロータリ35-40完備	溝幅35，40cm，ホイルチューブ35		○	○	
	92201-2371-1	溝掘りロータリ50完備	溝幅50cm，ホイルチューブ50		○	○	
	92201-2931-1	溝掘りセット25-30N	溝幅25，30cm，鉄車輪ホイールチューブ30	果樹園の溝掘りハウスのベッド作り	(○)	(○)	
	92201-2941-1	溝掘りセット35-40N	溝幅35，40cm，ホイールチューブ35		(○)	(○)	
	92201-2951-1	溝掘りセット50N	溝幅50cm ホイールチューブ50		(○)	(○)	
片排土ロータリ類	92201-2431-1	片排土ロータリ25-30	溝幅25，30cm	ハウス内の支柱際，及び溝掘りの埋戻し，ほ場内の片排土	○		
	92201-2451-1	片排土ロータリ35-40	溝幅35，40cm		○	○	
	92201-2971-1	片排土セット25-30N	溝幅25，30cm	ハウス内の支柱際の溝掘り	(○)		
	92201-2981-1	片排土セット35-40N	溝幅35，40cm		(○)	(○)	
覆土ラセン類	92170-1331-1	覆土ラセン600	ラセン径20cm，幅60cm	溝掘りの覆土	○	○	
	92170-1391-1	覆土ラセン600N	ラセン径20cm，幅60cm	覆土	(○)	(○)	
畝盛りロータ類	92191-1401-0	タバコロータ40兼用	外径40cm	タバコ，甘藷の畝盛り	○	○	(Z)T42 (Z)T6
	92191-1601-0	タバコロータ小畝	外径40cm	タバコ，甘藷の畝盛り，畝すそ幅60cm以下	○	○	(Z)T42 (Z)T6
	92191-1034-0	平畝ロータ140	外径40cm，畝幅140cm	そ菜，トマトなどの平畝	○	○	(Z)T42 (Z)T6
	92191-1035-0	平畝ロータ160	外径40cm，畝幅160cm		○	○	(Z)T42 (Z)T6
	92191-1240-1	タバコロータ兼用THW	外径40cm	タバコ，甘藷の畝盛り	(○)	(○)	TX700
	92191-1250-1	タバコロータ小畝THW	外径40cm		(○)	(○)	TX700
	92191-1981-1	平畝ロータ140N	外径40cm，畝幅140cm	野菜の畝盛り	(○)	(○)	
	92191-1850-1	平畝ロータ160THW	外径40cm，畝幅160cm		(○)	(○)	

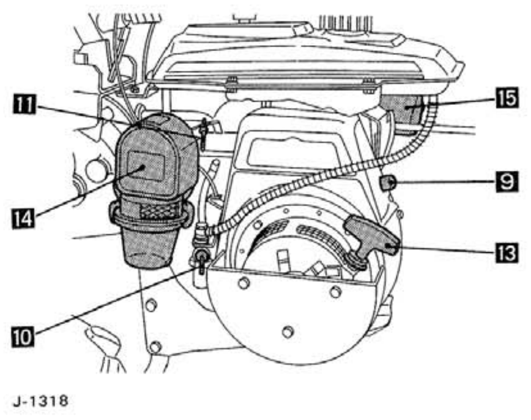
	品番	品名	仕様	用途	適用機種		兼用機種
					50(A)形 (50(A)-2形)	70形 (70-2形)	
マルチ類	92280-5051-1	汎用平畝マルチアッシ	シート幅最大180cm	そ菜，平畝用同時マルチ	○ (○)	○ (○)	(Z)T42 (Z)T6
	92280-5001-1	汎用高畝マルチアッシ	シート幅最大135cm	タバコ，甘藷などの高畝用同時マルチ	○ (○)	○ (○)	(Z)T42 (Z)T6
整形板類	92221-5731-1	内盛り整形板FRT	畝高さ20~30cm 畝すそ幅40~80cm	タバコ，甘藷などの畝作り	○ (○)	○ (○)	
	92221-5732-1	平高整形内盛り160FRT	畝幅160cm 畝高さ15, 20, 25, 30cm	そ菜の平高畝	○ (○)	○ (○)	
	92221-5733-1	内盛り整形板トマトFRT	畝高さ25~30cm	トマト，そ菜などのカマボコ形状畝	○ (○)	○ (○)	
	92221-5734-1	外盛り整形板20FRT	溝幅20cm	タバコ，そ菜の培土	○ (○)	○ (○)	
ラセンスキ(ロータリ用)類	92191-1731-1	親子ラセンスキFRT	外径40cm，延長ラセン，残耕処理付き	桑園の管理作業	○	○	
	92191-1732-1	ハウスラセン250FRT	溝幅25cm，鉄車輪，残耕処理付き	ハウス，球根などの畝作り覆土	○		
	92191-1733-1	組合せラセン600FRT	溝幅34，60cm，ホイルチューブ35，残耕処理付き		○	○	
	92170-1031-1	小形ラセンアッシ	外径36cm，2又安定棒，残幹処理刃	桑園の管理作業，タバコ，そ菜の畝作り	○	○	(Z)T42 (Z)T6
	92191-1911-1	親子ラセンスキFRT	径40cm，延長ラセン付	桑園，そ菜の管理作業	(○)	(○)	
	92191-1941-1	親ラセンアッシFRT	径40cm (親ラセンのみ)		(○)	(○)	
	92191-1921-1	ハウスラセン250FRTN	溝幅25cm 鉄車輪残耕処理板付	ハウス内の畝作り	(○)	(○)	
	92191-1931-1	ハウスラセン600FRTN	溝幅30，60cm 残耕処理板付		(○)	(○)	
ロータリ類	92201-2081-1	FRTサイドドライブロータリ	径36cm，耕幅60cm	中耕除草		(○)	
	92201-2260-1	コウウン爪軸アッシFRT	径36cm，耕幅54cm	中耕		(○)	
	92201-2270-1	後輪アッシFRT	ブラケット付		(○)	(○)	
その他	92191-1631-1	M形ロータチューブ	ロータチューブ径40mm	M社のアタッチメント取付けチューブ	○	○	
	92033-9631-1	鉄車輪		溝幅25cmの溝掘り，畝作り	○ (○)		
	92191-1635-1	ホイルチューブ25		溝幅25cm，30cm用	○ (○)		
	92191-1636-1	ホイルチューブ35		溝幅35cm，40cm用	○ (○)	○ (○)	
	92191-1637-1	ホイルチューブ50		溝幅50cm用	○ (○)	○ (○)	

(○)：50(A)-2形，70-2形

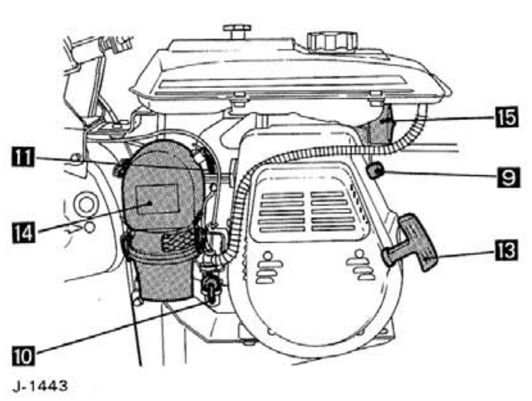
運転装置の説明



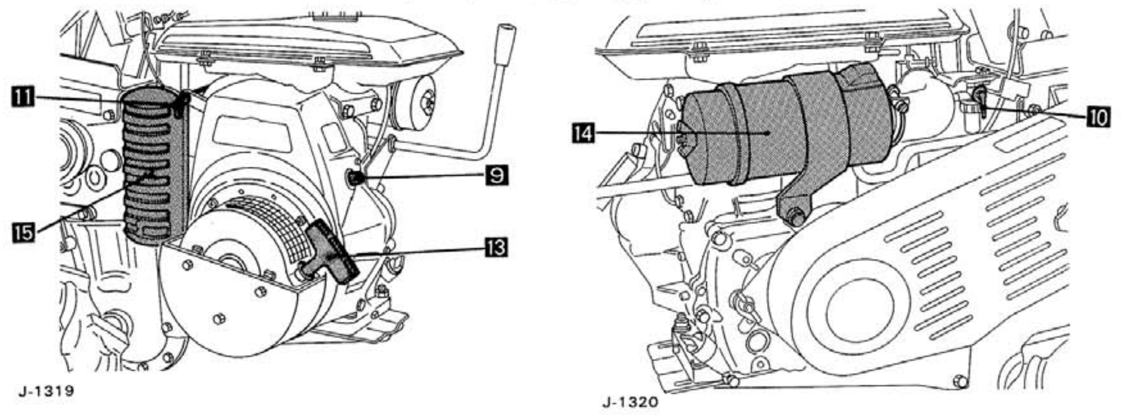
(ZRT)FRT50〔GS200-TE〕



(ZRT)FRT50A〔GS200-TE2〕

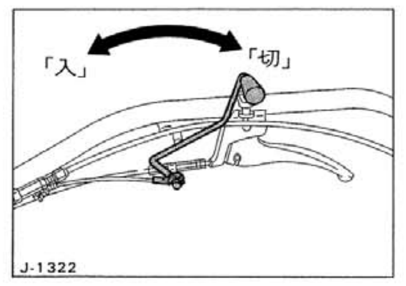


(ZRT)FRT70〔GS280-TE〕



1主クラッチレバー

エンジンから各部への動力を断続します。



安全ポイント

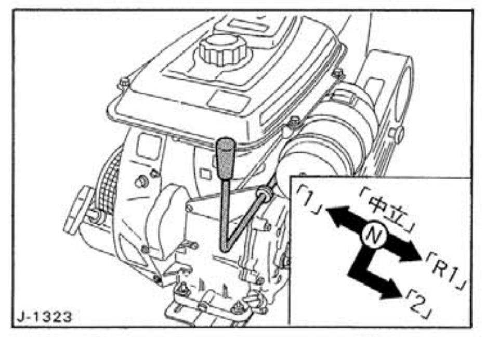
- 傾斜地，狭い場所で作業する場合や後進するときなど，ハンドルが持上がり危険ですので，主クラッチはゆっくり操作してください。

2主変速レバー

前進2段・後進1段の変速ができます。作業に適した速度をお選びください。

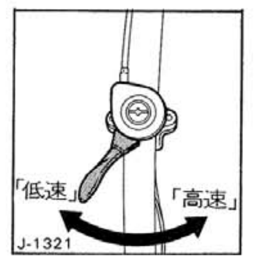
注意

- 前進後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。



3スロットルレバー

エンジンの回転速度を調節します。



4操向クラッチレバー(左)

握ると左に旋回します。

5操向クラッチレバー(右)

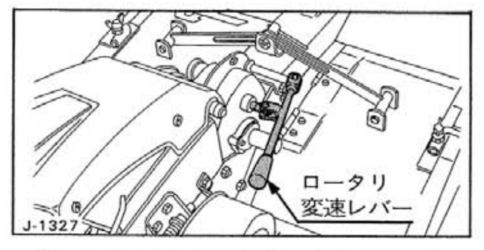
握ると右に旋回します。

安全ポイント

- 坂道，傾斜地で操向クラッチを切ると，急激に機体の方向が変わって危険ですから，ハンドルのみで操作してください。

6ロータリ変速レバー

「低」「高」の位置にすると，爪軸が回転します。「中立」に戻すと停止します。



(ZRT)FRT50(A)	(ZRT)FRT70
「入」↔「切」	「低速」↔「中立」↔「高速」

7ハンドル上下調節レバー

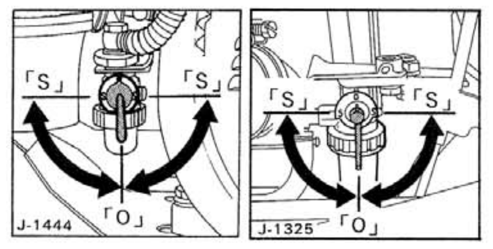
8ハンドル回動レバー

「ハンドル位置の調節」の項参照。

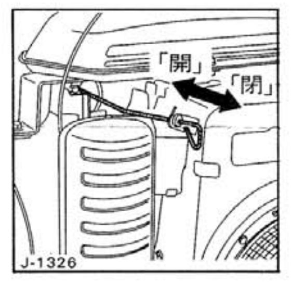
9エンジン停止ボタン

押すとエンジンが停止します。

10燃料コックレバー



11チョークレバー



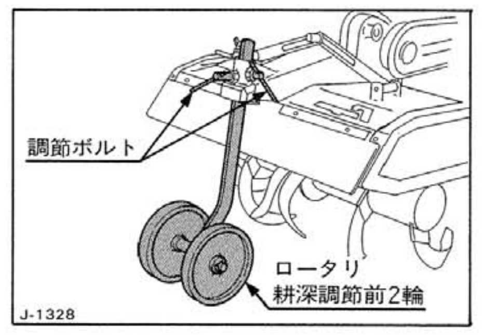
12燃料タンクキャップ

13リコイルスタータハンドル

14エアークリーナ

15マフラ

16ロータリ耕深調節前2輪



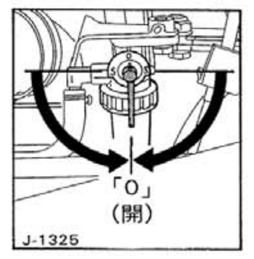
運転のしかた

エンジンの始動前には，必ず仕業点検を行なってください。

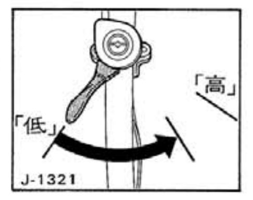
エンジンの始動

❶主クラッチレバーが「切」，主変速レバーが「中立」の位置にあることを確認します。

❷燃料コックを開きます。

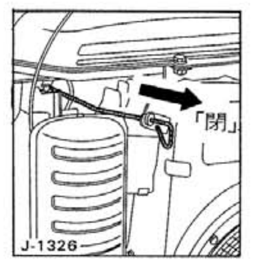


❸スロットルレバーを「高」と「低」の中間の位置にします。



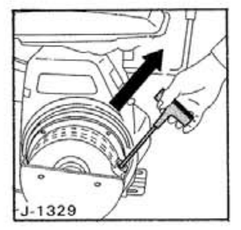
❹チョークレバーを「閉」にします。

- エンジンがよく暖っているときは，チョークの操作は不要です。



❺リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ります。

- エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。



❻エンジンの運転調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。(開く)

❼2～3分間暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

安全ポイント

(1)マフラの排気出口方向に，燃えやすいものがないか確認してください。

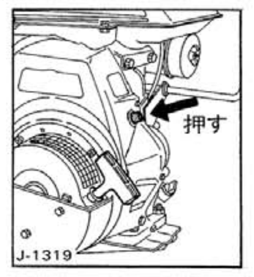
(2)リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。

(3)エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。

エンジンの停止

❶スロットルレバーを「低」にします。

❷停止ボタンを押すと，エンジンが停止します。



❸燃料コックを閉じます。

安全ポイント

- エンジン停止直後は，マフラが熱くなっていますから，手を触れないようにしてください。

管理機を安全に調子よく長持ちさせるには

給排油・点検・調節・清掃中はエンジン停止。

仕業点検(毎日始動前の点検)

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1. 前日使用の異常箇所。
2. 燃料は十分か。……………………………… 1
3. エンジンオイルの量，及び汚れ。……… 2
4. ミッションオイルの量，及び汚れ。…… 3
5. エアークリーナエレメントの汚れ。…… 5
6. タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。
7. 各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。……………………………… 4
8. 各部の油もれ。
9. 各部の損傷，及びボルト，ナットのゆるみ。

ならし運転
(最初の10時間程度使用まで)

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ，無理をさせないようにしましょう。

1 燃料の給油

安全ポイント

(1)給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。

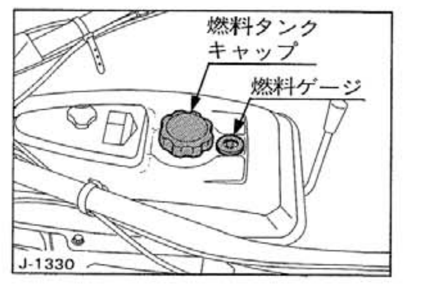
(2)燃料がこぼれたときはきれいにふきとってください。

機体を安定させ，給油口からこし網を通して給油してください。

燃料の種類	規定容量
自動車用無鉛ガソリン	3.3ℓ

注意

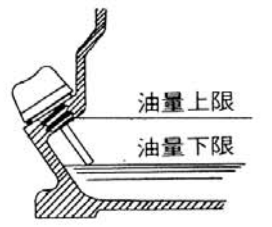
- 燃料タンク内にゴミや水が混入しないように注意してください。



2 エンジンオイル

◆給油のしかた

エンジンを水平にして，給油口の口元まで入れます。

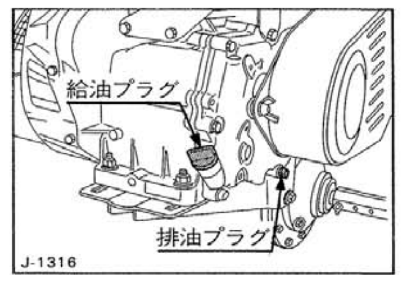


注意

- 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，販売店・農協でクボタ純オイルG20又はG30と指定の上，お求めください。

◆排油のしかた

排油プラグを備品のボックススパナで取外して排出します。



注意

- 排油プラグはテーパーネジになっていますので締付け時，注意してください。

オイルの点検と交換表

オイル交換は，旧油といっしょにケース内のゴミも排出させるために，運転使用後オイルが暖まっている状態のときに排出してください。

項目	点検方法	交換		オイルの種類	規定量	
		第1回め	以後			
エンジンオイル	エンジンを水平にして，給油口の口元まで。	20時間使用後	50時間使用ごと	クボタ純オイル(ガソリンエンジン用) 冬G20，夏G30	(ZRT)FRT50(A)	0.6ℓ
					(ZRT)FRT70	0.9ℓ
ミッションオイル	耕うん爪を接地した状態で，検油口からあふれ出るまで。	20時間使用後	年1回	クボタ純オイル(ミッション用) M90又は，M80B	2.2ℓ	
ロータリケースオイル	——	20時間使用後	年1回		1.0ℓ	
副チェーンケース	——	50時間使用後	50時間使用ごと	クボタチェーングリース又は良質グリース	適量	

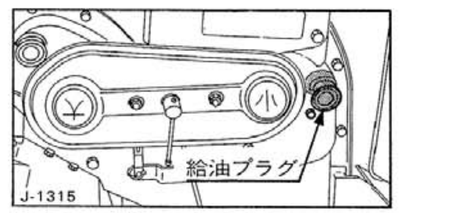
3 ミッションオイル

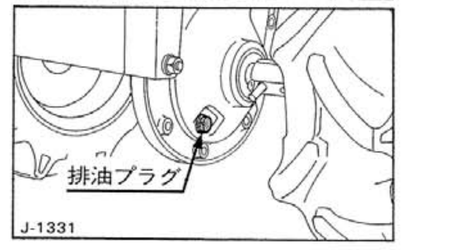
◆給油のしかた

耕うん爪を接地した状態で給油プラグを外し，検油口からオイルがあふれるまで給油します。

◆排油のしかた

できるだけ機体を後に傾けるようにして，排油プラグを取外し，排油します。

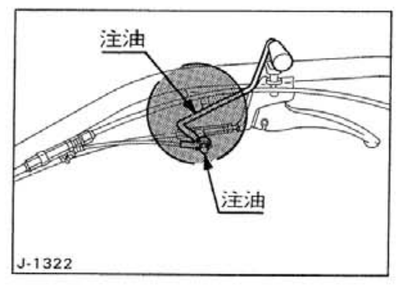




4 注油箇所

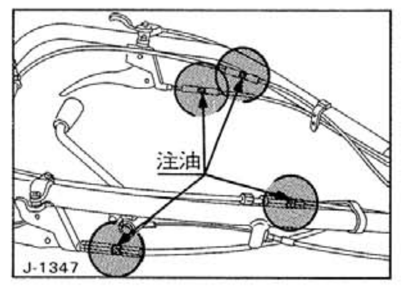
オイルの種類	給油量
クボタ純オイルG30	適量

■クラッチレバー支点

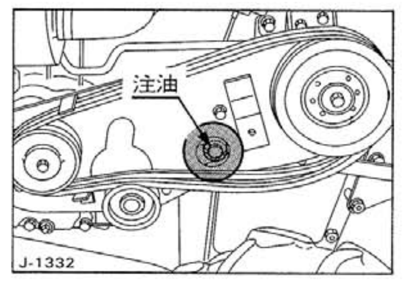


■各種ワイヤ

調節金具の箇所に注油口があります。



■テンションプーリ支点軸



安全ポイント

- ベルトカバーを取外した場合は，必ず取付けてからエンジンを始動してください。

■その他のしゅう動部の注油

その他の各しゅう動部分には，オイルを適量注油してください。

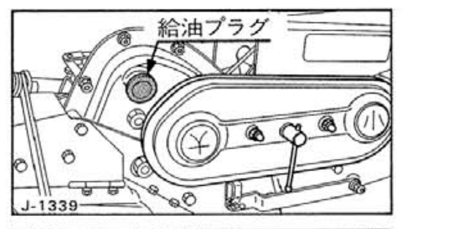
■ロータリケース

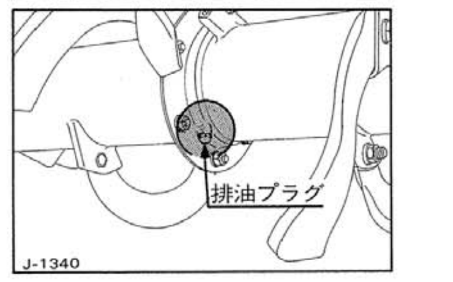
◆給油のしかた

ロータリケース上部の給油プラグを外して給油します。

◆排油のしかた

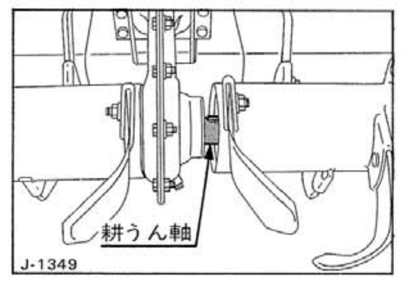
ロータリケースの排油プラグを抜いて排出します。





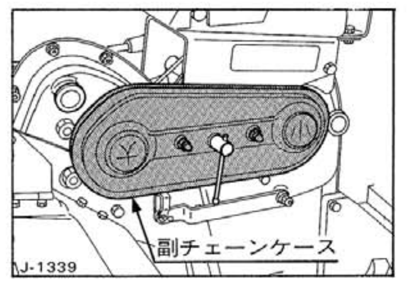
■耕うん軸

耕うん軸にグリース又はオイルを塗布しておくと，爪軸の着脱が楽になります。



■副チェーンケース

副チェーンケースカバーを外し，良質グリースを適量補充してください。



5 エアークリーナの清掃

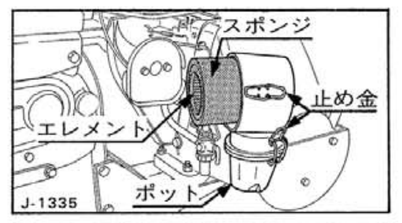
止め金(蝶ナット)を外し，エレメントを取出して清掃してください。(50～60時間使用ごと)

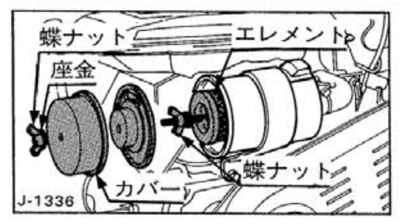
(1)エレメントは，叩いてホコリを落します。

(2)ポット又はカバーにたまったゴミは，止め金(蝶ナット)を外して掃除します。

(3)スポンジは，ガソリンで洗浄した後，エンジンオイルに浸し，固く絞って使用します。〔(ZRT)FRT50(A)〕

(4)エレメントは，6回清掃又は1年ごとに交換します。



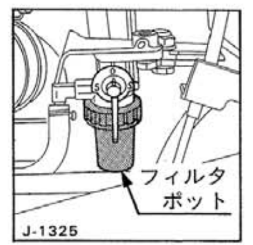


フューエルフィルタの清掃

フィルタ内に水やゴミがたまっているときは，フィルタポットを取外し，よく清掃してください。

注意

- 取付け時，燃料もれのないように完全に締付けてください。



使用後の清掃

使用後は，❶必ずその日のうちに清掃を行ない，❷各部に付いている土やゴミを落とし，❸各しゅう動部はさびないよう油を塗布してください。❹特にファンカバー内にゴミが詰まると，エンジンの焼付きなどの原因になるので，よく点検・清掃を行なってください。

長期格納時の手入れ

使用後の清掃と同じく，❶各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，❷各部の水分を乾いた布などで十分にぬぐい取り，❸摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。
その他，次の事項について手入れしてください。

(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管します。

(2)燃料は全部抜取っておきます。

(3)エンジンオイルを交換し，各部をきれいに清掃します。

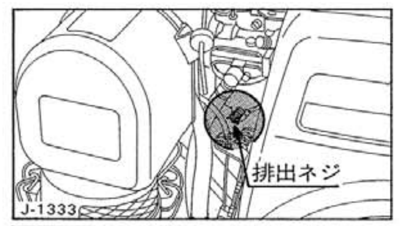
(4)エアークリーナエレメントは，きれいに清掃しておきます。ゴミがこびりついて次回使用の際，清掃が困難になります。

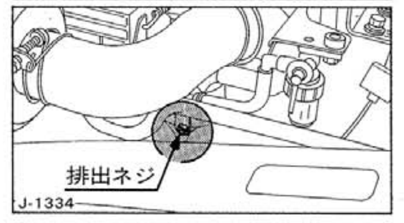
(5)エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。

(6)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で，かけてください。

■燃料の抜き方

使用後，燃料をそのままにしておくと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあるので，全部抜取ってください。
燃料タンク内はパイプなどを使用して抜取り，気化器内は排出ネジをゆるめて全部抜取ります。





安全ポイント

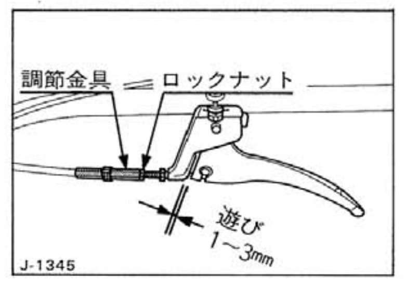
- 燃料がこぼれたときは，きれいにふきとってください。

操向クラッチの調節

操向クラッチレバーを握っても，操向クラッチが切れにくい場合，又レバーを放しても入りにくい場合は，ワイヤ調節金具のロックナットをゆるめ，調節金具を回して調節します。

切れにくい場合	調節金具を長くする。
入りにくい場合	調節金具を短くする。
適正調節量	操向クラッチが完全に入っていることを確認してレバーの遊びが1～3㎜程度。

調節後は，ロックナットを確実に締付けてください。



各部の調節のしかた

点検・調節・取付け・取外し中は，エンジン停止。

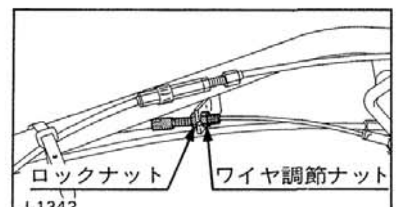
主クラッチの調節

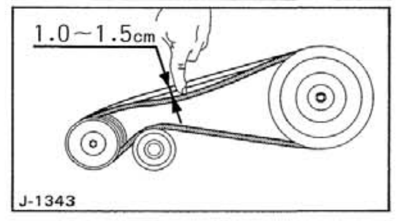
主クラッチレバーは，運転操作の源となる重要なレバーです。確実に断続できるように，次のことがらについて調整してください。

■主クラッチワイヤの調節

主クラッチレバーを入れてもベルトがスリップする場合，又，主クラッチレバーが重すぎる場合などには，主クラッチワイヤの調節金具でベルトの張り具合を調節します。

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
ベルトの張り強さ	主クラッチを入れた状態で，ベルト中央部を指で押えて約1.0～1.5㎝たわむ程度。

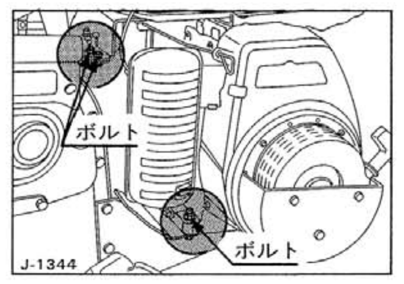




テンションクラッチ「入」の状態でベルト押えと，ベルトが離れ，テンションクラッチ「切」の状態で，ベルト押えが，ベルトを軽く押える程度に調節し，つれ回わりのないようにしてください。

■エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり，新しいベルトに取換えた場合に，主クラッチワイヤやベルト押え金具で主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動して調節します。エンジン固定ボルト4本と，燃料タンクステー取付けボルト2本をゆるめて調節し，調節後は確実にボルトを締付けてください。

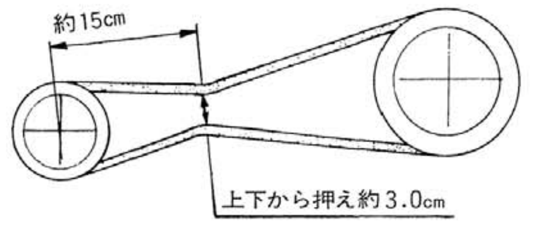


注意

- エンジンを移動させる場合，主クラッチワイヤ調節金具のねじ部が5㎜位出ているようにセットしておいてください。

■新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルトのたわみ代は，エンジンプーリ側から約15㎝の位置で上下から押えて，約3.0㎝になるよう，エンジンを移動させて調節します。



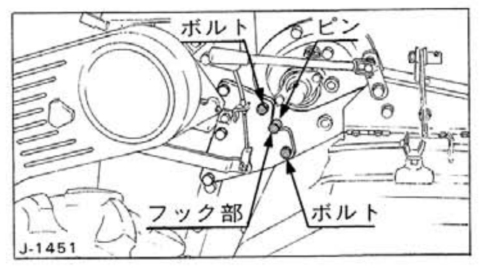
安全ポイント

(1)調整と各部の締付けが終ってからの確認は，主クラッチを切り，エンジンを始動して，主クラッチを「入」のときベルトが作動し，「切」のときに停止するか確認してください。

(2)調整・掛換えが終ったら，必ずベルトカバーを取付けてください。

ロータリ部の取付け，取外し

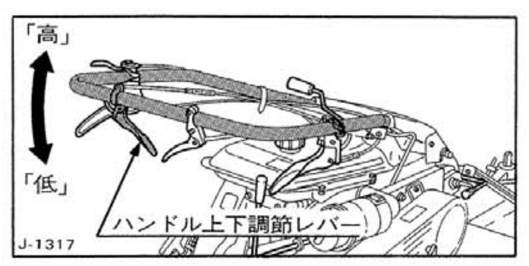
ロータリ部は，副チェーンケースを外してから，ヒッチのボルト2本で取外します。
取付けるときは，フック部にピンを引掛けて，ボルトを取付けてください。



ハンドル位置の調節

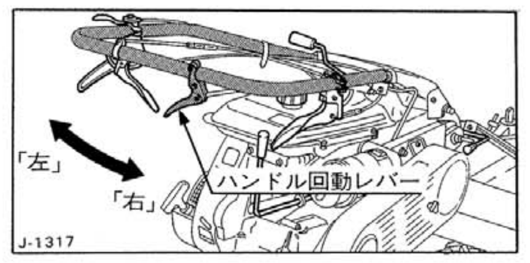
■ハンドルの上下調節

ハンドル上下調節レバーを握ることにより，4段階に調節できます。



■ハンドルの回動

ハンドル回動レバーを握ることにより，左右それぞれ1段階に角度の調節ができます。

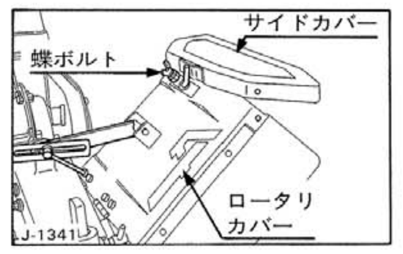


注意

- ハンドルを一番下げた状態では，機体に接触するため，上げて回動してください。

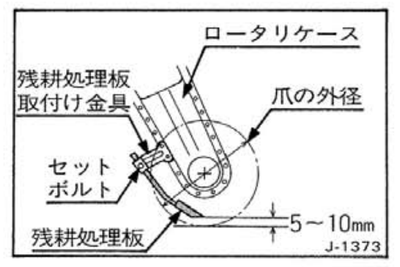
ロータリカバー調節

溝掘り作業及びハウス内での畝作り作業などにおいては，ロータリカバーの上下及びサイドカバーの開閉により，土の落下位置を調節します。



残耕処理板の取付け調節

残耕処理板の取付けは，ロータリケースに取付けている残耕処理板取付け金具に，残耕処理板を差込み，セットボルトで固定し，ロックナットでゆるみ止めをします。



注意

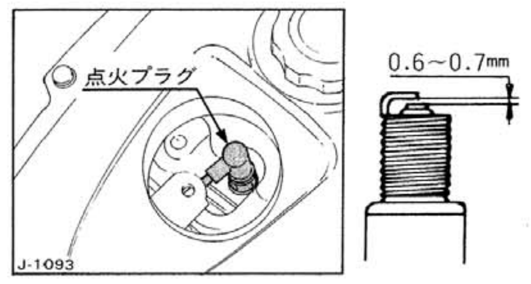
①爪の外径より，5～10㎜残耕処理板の先端を上へセットしてください。

②爪の外径より下げますと残耕処理板に負荷が加わり，車輪がスリップしたり曲がり破損します。

点火プラグの調節・清掃

（使用点火プラグ……デンソーW14F-U
NGK　B4-H）

点検調節は6ヵ月に1回行ないます。
タンクカバー締付け用マスコットネジを外してタンクカバーを外し，プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃します。
電極間隔は，下図のスキマに調節してください。



注意

- 締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。

車輪間隔調節と車輪交換

車輪は，ピン1本を通して取付けてありますので，ホイルチューブピンを抜いて車輪間隔の調節や，交換を行ないます。

タイヤの空気圧

適正空気圧	1.2kg/㎠